

平成24年度

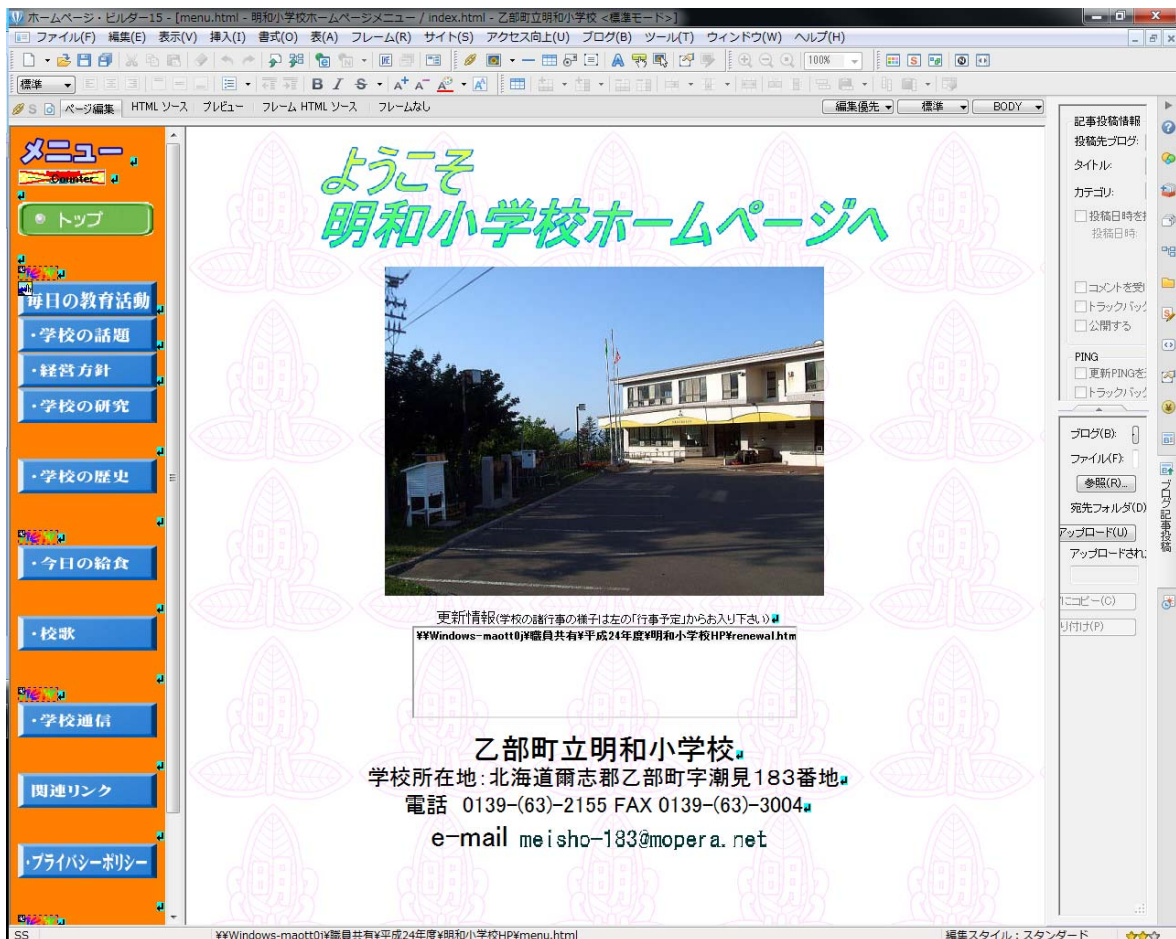
檜山情報教育研究会

# 誰でもできるホームページづくり ～ホームページビルダーを使って～

期日:平成 24 年 7 月 14 日(土)

場所:大成中学校

講師:明和小教頭 佐々木 朗



檜山情報教育研究会

## 1. はじめに

ホームページは見るもので、作るものではないという方が大多数だと思います。最近はブログなどもあり、情報を受けるだけの世界から、発信する世界にも挑戦する方も増えていきます。

一方、学校ホームページはというと、どうも気が重くてなかなか動きがとれない部類に入るのではないのでしょうか。私のように興味がある者が担当すると日々更新されるわけですが、無理矢理担当になったり、管理職だから担当ということだったりすると、気持ちもが向かないのはうなずけます。

今回は、短い時間ですが、実際にホームページビルダーというホームページ作成ソフトを使って、何枚かのホームページを作ってみましょう。そして、実際にインターネットの世界にアップしてみましょう。

自分の作ったものが、世界に発信することができるというのは、気持ちのいいものです。

## 2. 本日使うソフト

### (1) ホームページビルダー体験版

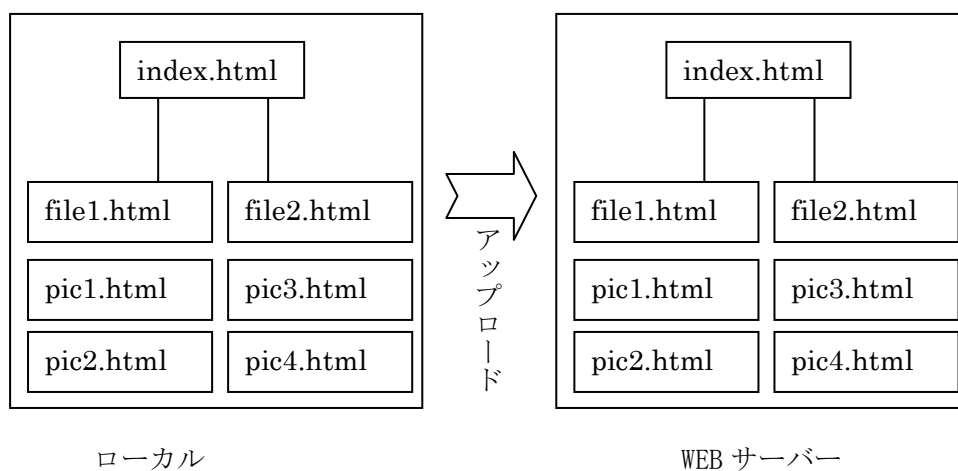
ホームページ作成ソフト

### (2) FFFTP

ホームページ転送ソフト

## 3. ホームページの原理

### (1) ローカルと WEB サーバー



①ホームページを作成するには、ローカル（ホームページを作るパソコン）でホームページを作り、動作を確認して、WEB サーバーにアップします。これをアップロードと言います。この時点で世界中から見るできるようになります。アップロードをするためには、インターネット上にそのファイルの置き場を作ってもらわなければなりません。今回はFC 2という無料のWEB サーバーを利用しています。アップロードするには、サーバー名、ユーザー名、パスワードが必要です。

②インターネットで見ることのできるファイルは一般的にhtml というファイル名を使います。タグという記号で書かれているのですが、今回の講習では詳しく触れません。また、ファイル名は全てアルファベットか数字という決まりがあります。

③html ファイルは画像を表示することができます。画像は、html ファイルとは別に画像ファイルとして置きます。(ワードでは、ワード文書の中に写真を貼り付けてワードのファイルとして保存できますが、html は、文は文、画像は画像というように分かれて保存されます) 前ページの図では file1 に pic1 と pic2 の写真が表示されます。

④html ファイルの一部にリンク (他のファイルに飛ぶ) をつけると、そのページに飛ばすことができます。前ページの図では、index.html というファイルに2つのリンクがあり、file1 または file2 に飛ぶことができます。

#### 4. 今回の講習会の内容

- (1) 1枚のメニュー画面を作成する。(檜山の名所紹介)
- (2) 数枚の写真付きの紹介画面を作成する。
- (3) メニュー画面から紹介画面、紹介画面からメニュー画面への戻るボタンをつける。
- (4) インターネットに上げるための準備
- (5) インターネットへのアップロード

## 1. メニュー画面を作ろう

ホームページビルダーを立ち上げ、新規作成をクリックします。



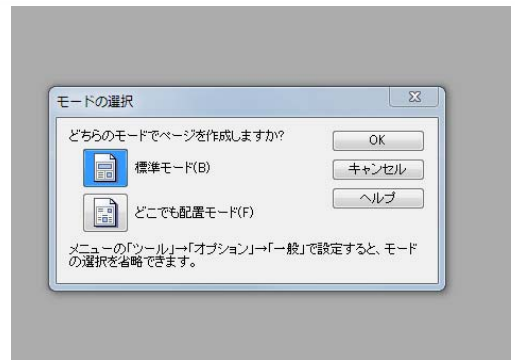
標準モード、どこでも配置モードの選択画面がでましたら、標準モードを選びます。画面が白くなります。

(1) タイトルのロゴを作しましょう。

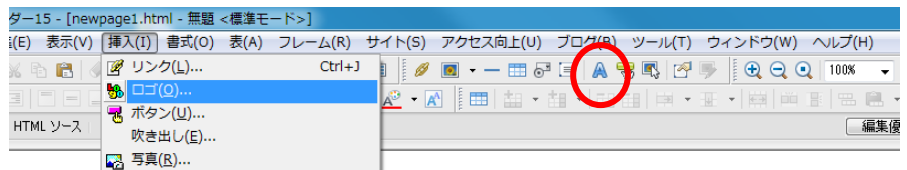
「挿入」、「ロゴ」とクリックしていくか、または、メニューバーからロゴのボタンをクリックします。

ロゴの作成ボタンが出ます。

文字 (T) という覧に、作りたいロゴの文字を打ちま



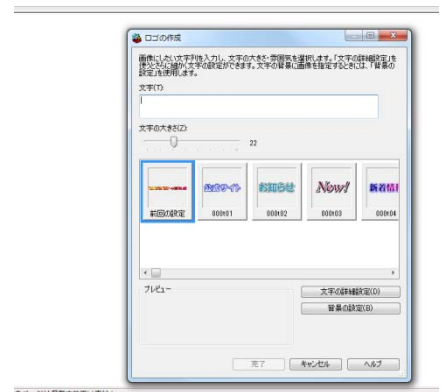
す。ここでは、「檜山の見所」とでもしておきましょう。その下は、文字の



大きさです。変えてもいいのですが、今回はそのままにしておきます。次の覧にはいろいろなロゴが出ています。いろいろ見ていって一つ決めて下さい。その下に文字の詳細設定とか背景の設定とかありますが、今回は、そのままにしておきます。

プレビュー画面に、イメージが出ます。最終的に決まりましたら、「完了」をクリックします。

ロゴが画面に表示されました。



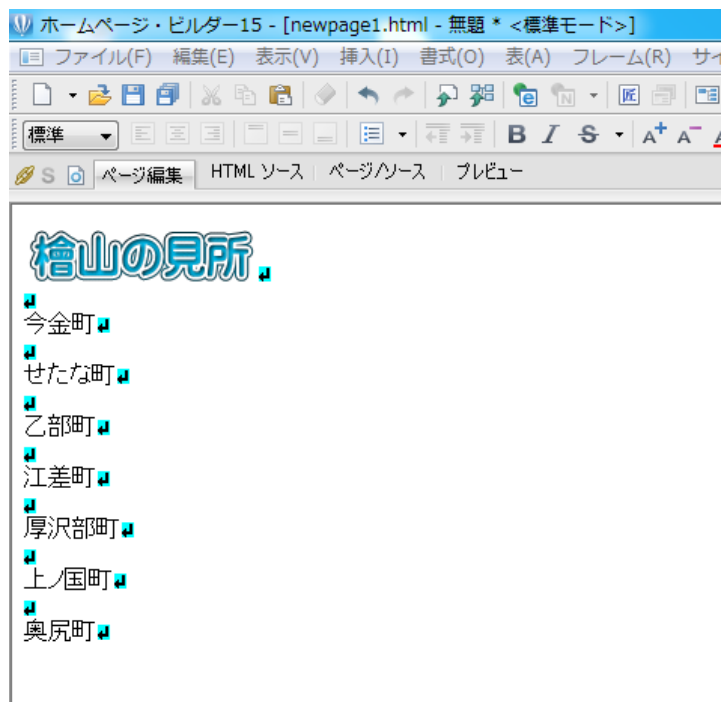
檜山の町名を入れていきます。

町名を入れて、改行キーを押して、一行おきにいらていきましょう。

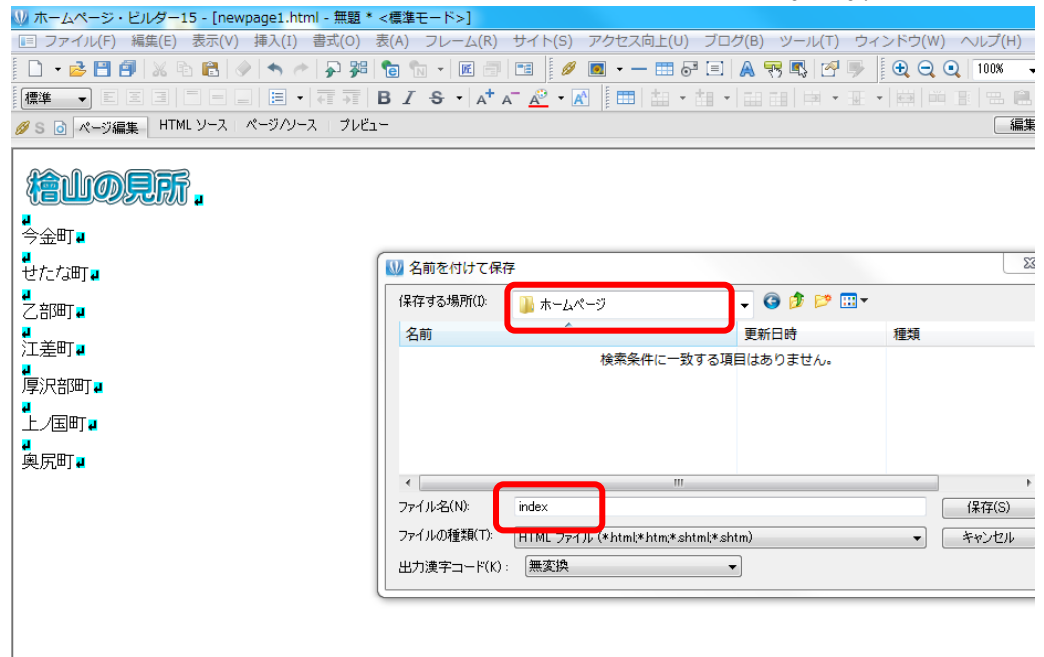
この講習では、このページをトップ画面として、今金町をクリックすると今金町の紹介のページに飛ぶしかけ（リンク）を作っていきます。

ここまでできましたら、このページを保存します。

「ファイル」「名前をつけて保存」とクリックします。保存する場所は、とりあえず「デスクトップ」に「ホームページ」というフォルダを新規に作成し、index というファイル名で保存します。



すると、  
logo1.gif を保  
存しますかと聞  
いてきますので、  
「保存」をクリ  
ックします。  
以上でメニュ  
ーのページがで  
きました。

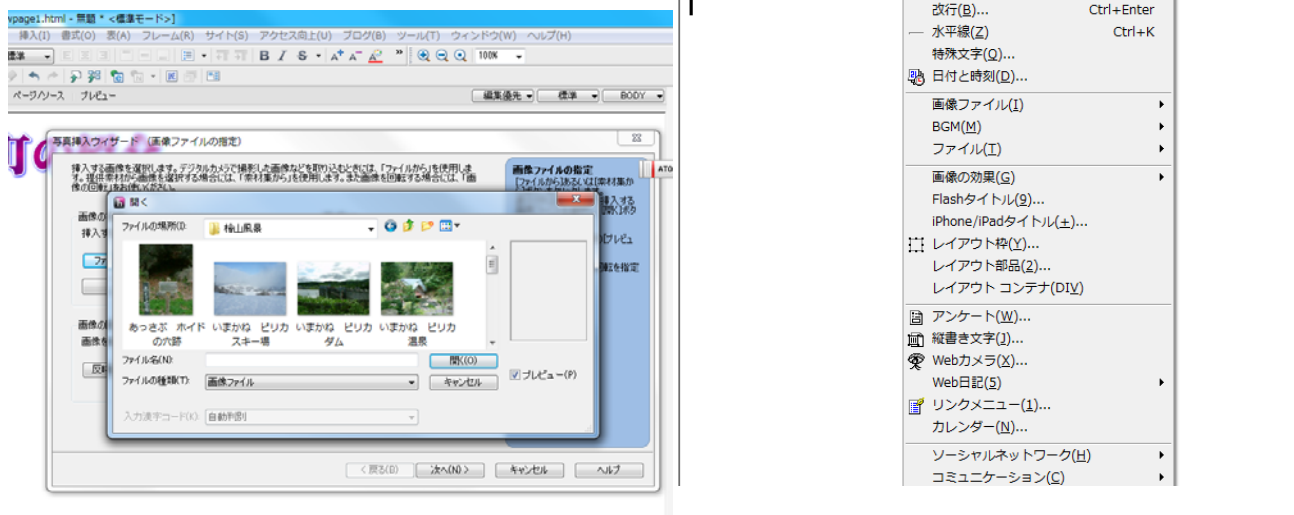


## 2. それぞれのページを作る

メニューのページは保存できたので☒で消して、もう一度、新規作成で新しい画面を出  
します。

せたな町のページを作りましょう。  
ロゴで「せたな町」を作成します。

今回は、写真の挿入について練習します。  
「挿入」、「写真」とクリックします。



「デスクトップ」の「ホームページ講習会CD」の「檜山風景」をクリックします。(左上  
図)

その中から、せたな町の写真を選びクリックします。選んで「開く」をクリックします。  
「次へ」をクリックします。大きさは、中ぐらいにしておきます。「次へ」をクリックしま  
す。ワンタッチ、クッキーはお好みですが、今回両方ともチェックをしていきます。「つぎ  
へ」をクリック。「飾り効果なし」で「完了」です。

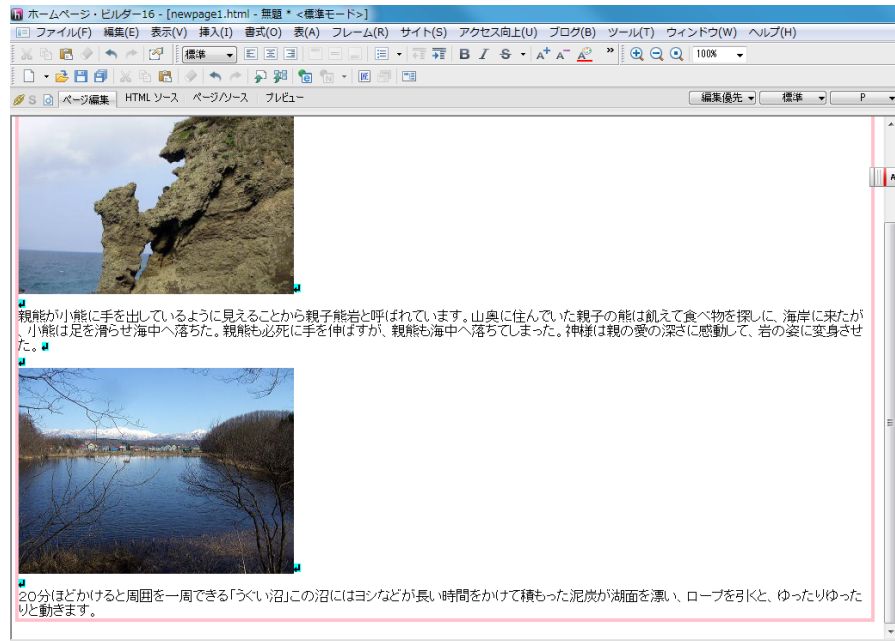
次の行には、説明を入れましょう。「親熊が小熊に手を出しているように見えることから  
親子熊岩と呼ばれています。山奥に住んでいた親子の熊は飢えて食べ物を探しに、海岸に

来たが、小熊は足を滑らせ海中へ落ちた。親熊も必死に手を伸ばすが、親熊も海中へ落ちてしまった。神様は親の愛の深さに感動して、岩の姿に変身させた。」など

できましたら、同じようにもう一カ所ぐらい、写真と解説を入れましょう。

ここでは「浮島公園」で作ってみました。

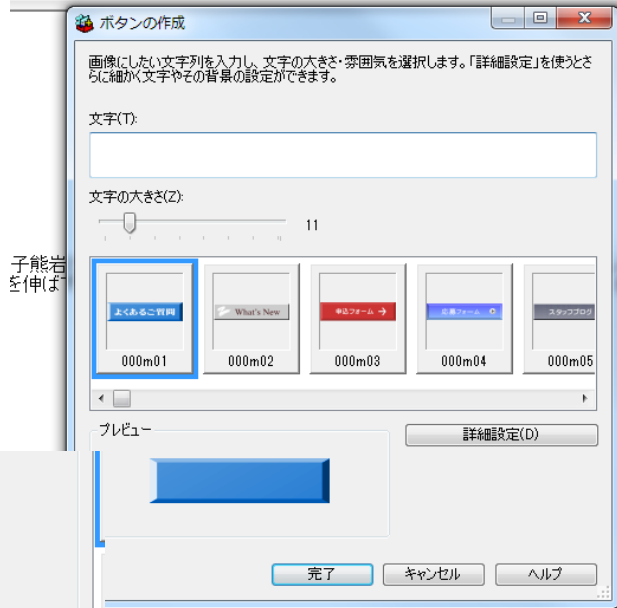
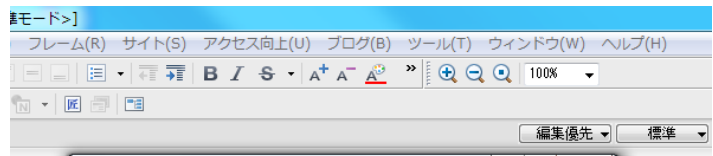
「20分ほどかけると周囲を一周できる「うぐい沼」この沼にはヨシなどが長い時間をかけて積もった泥炭が湖面を漂い、ロープを引くと、ゆったりゆったりと動きます。」



一番下にはメニューへの戻るボタンをつけます。

「挿入」、「ボタンの作成」とクリックしていきます。「文字」ところには檜山の観光メニューと入れます。ボタンは好きなものを選んで下さい。

私のは、はみ出してしまったので、調整します。「詳細設定」をクリックします。「縦横比保持」のチェックを外し、位置とサイズでボタンにうまく文字がのるように調整します。



どが長い時間をかけて積もった泥炭が湖面を漂い、ロープを引くと、ゆったり

ううまく調整ができましたら「OK」で「完了」です。

それでは、保存します。「ファイル」、「名前をつけて保存」、「デスクトップ」、ホームページ」と進みます。ここに新規作成で「setana」というフォルダを作り、そこに「index」という名前です。

4つファイルを保存するか聞いてきます。ロゴと写真2枚とボタンです。ホームページでは、このように今保存する index という文字だけを扱うファイルと画像を扱うファイルが全く別個に保存されるのです。

また、ファイルに日本語は使えないという約束もありますので、アルファベットに直していきます。「せたな親子岩 1.jpg」をクリックし、「ファイル名」を「oyakoguma.jpg」に、同じように「浮島公園 1.jpg」を「ukishima.jpg」に変更します。

また、ボタン1は、この後、全てのページに使いたいので、「setana」のフォルダではなく、トップにおきます。参照で、または、キーボードで「・・・¥Desktop¥ホームページ¥」にします。そして、「保存」をクリックします。

同じように、他の町のページも作ってみてください。写真は、我が家のブログから撮った物ですが、上ノ国だけがありませんでした。近々、取材方々、観光に訪れたいと思います。

また、ボタン1は、この後、全てのページに使いたいので、「setana」のフォルダではなく、トップにおきます。参照で、または、キーボードで「・・・¥Desktop¥ホームページ¥」にします。そして、「保存」をクリックします。

せたなのページを消して、新規作成で奥尻町の紹介のページを作りたいと思います。

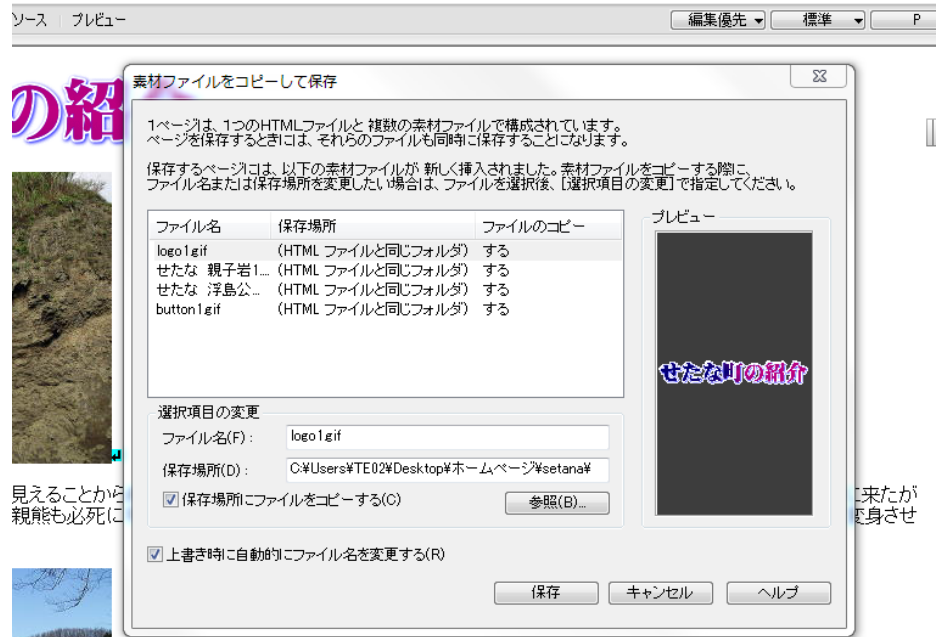
ロゴを入れて、写真を入れて、解説をいれるところまでは同じです。

最後にボタンをつけますが、さきほどせたなで作ったボタンを使います。

「挿入」、「画像ファイル」、「ファイルから」とクリックします。

ホームページのフォルダに「button1」を見つけることができましたでしょうか。そのファイルをクリックし、「開く」をクリックします。

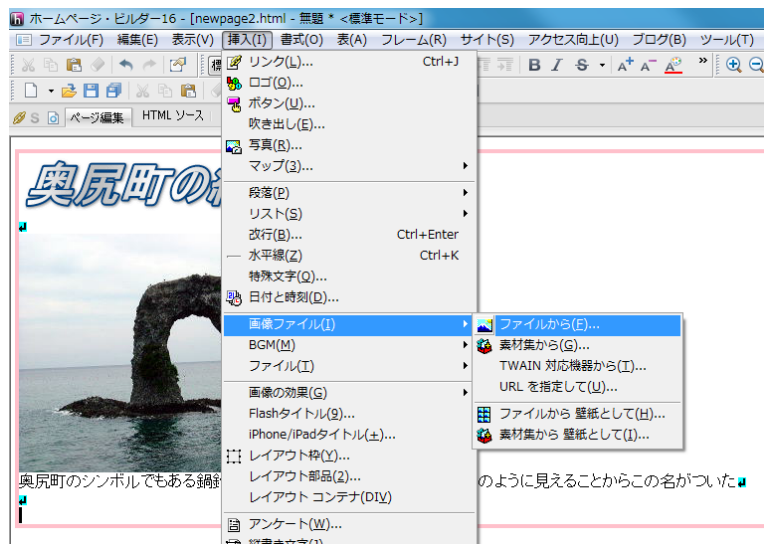
最後に保存です。「ホームページ」のフォルダに入り、(setana というフォルダが見えるはずです)「okushiri」というフォルダを作り、「index」という名前で保存します。



見えることから親熊も必死に

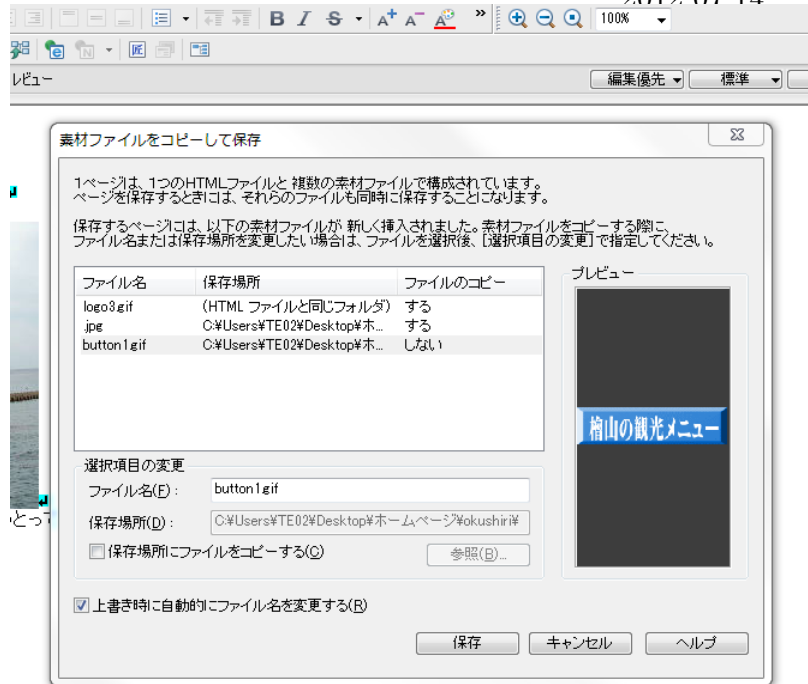


来たがてら身させ



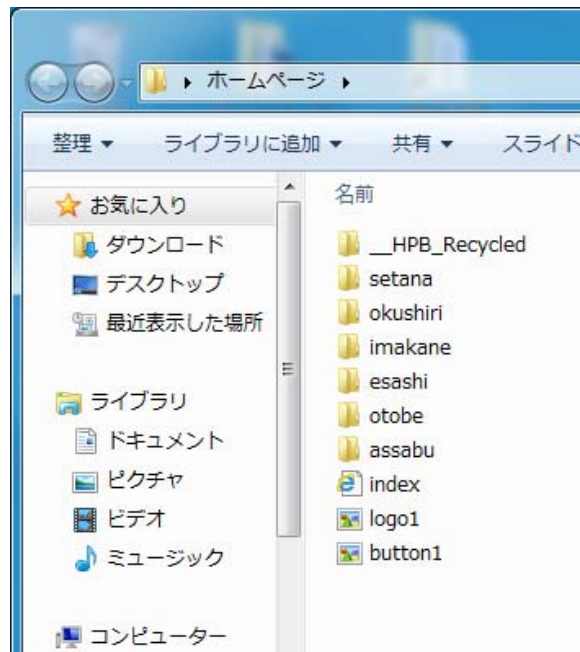
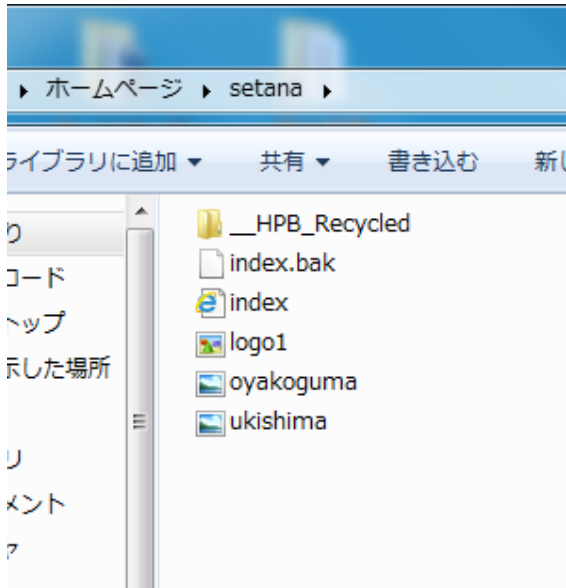
ロゴはそのまま、「おくり鍋釣る岩.jpg」は「nabetsuru.jpg」に、「button1.gif」は、「保存場所にファイルをコピーする」のチェックを外します。ファイルのコピーを「しない」になっています。そして「保存」をクリックします。

あとは、2つめに奥尻紹介のページを作った要領で、いくつか作ってみましょう。



### 3. ファイルを確認します。

ホームページというフォルダには、各町のフォルダと index、logo1、button1 があります。\_\_HPB\_\_Recycled は、今回は使いません。(修復する時に使います)



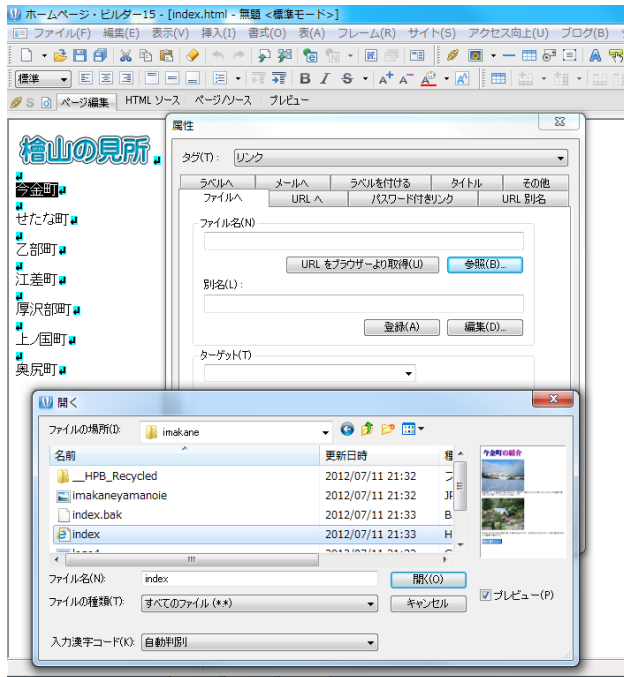
また、各町のフォルダ(左図はせたな)は、index、logo1、写真ファイル何枚かが入っています。



## 4. リンクを張ります。

トップページ(檜山の見所)のページを開き、各町のボタンをクリックすると、それぞれの町の紹介のページへ飛び、それぞれの町の紹介のページの一番下の「檜山の観光メニュー」のボタンをクリックするとトップページに戻るようにリンクを張ります。

(1) 檜山の見所のトップページを開いて下さい。



のところは、青くなって、下線が引かれます。


同じように、上ノ国町(上ノ国の先生すみません)を除く、各町にリンクを張ります。

上ノ国を除く各町が青く下線が引かれた状態になりましたでしょうか。ここで、上書き保存をします。

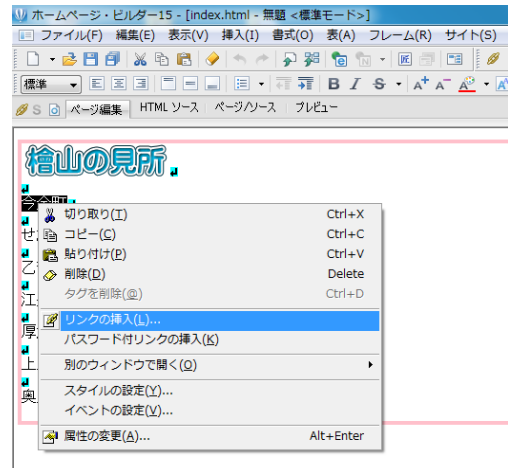
実際に動くか試してみましよう。

今、檜山の見所の上の方を見ると「ページ編集」になっています。その右に「プレビュー」があります。プレビューは、実際にインターネットで見たらどのように再現されるかを示すもので、リンクも動作します。「プレビュー」をクリックして下さい。

それぞれの町をクリックして、飛んでいけば成功です。矢印ボタンで戻って下さい。うまくいかないところがあれば、ページ編集に戻って、もう一度リンクを修正して、保存して下さい。

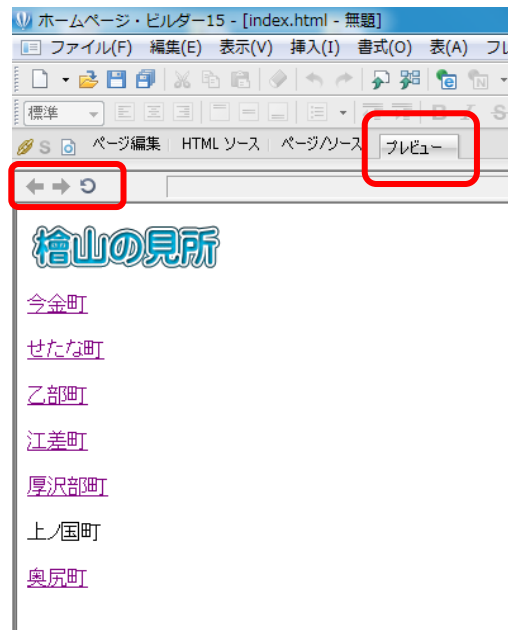
うまくいったようでしたら  でその画面を閉じます。

(2) それぞれの町の紹介ページから、「檜山の身どころ」のページに戻るリンクを張る。

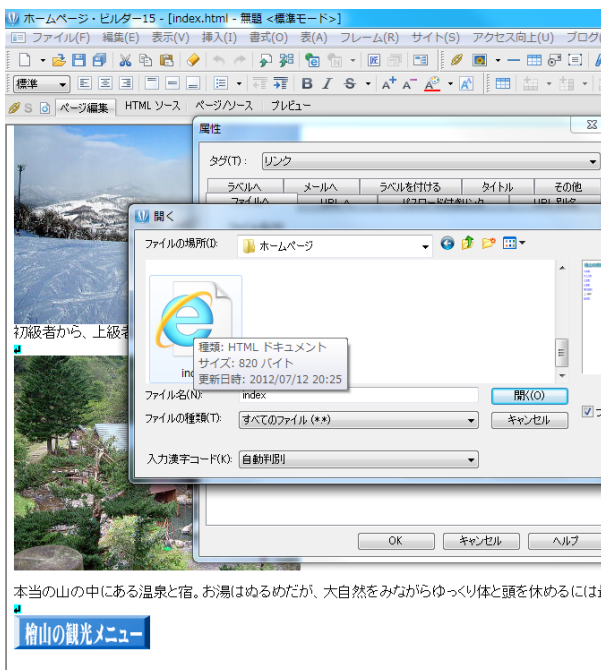


まず、今金町から、はじめます。「今金町」をドラッグ(クリックしながら、引っ張る)し、反転させます。一度離し、黒い所の中で右クリック、サブメニューが出てきますので、「リンクの挿入をクリック」(上図)。次に一番上の「ファイル名」の下の「参照」をクリックし、「imakane」というフォルダの中の「index」をクリックし、「開く」をクリックします。

画面が元のようになりますが、今金町



今金町の紹介ページを開きます。一番下の「檜山の観光メニュー」ボタンの上で右クリックをします。すると先ほどと同じようにサブメニューが出ますので、リンクの挿入、ファイルの参照、



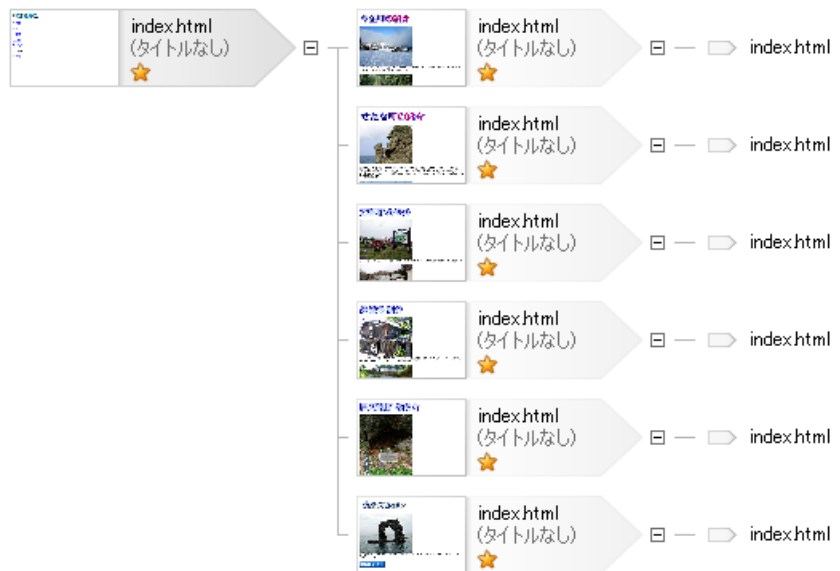
「ホームページ」の「index」をクリックします。そして上書き保存します。これ

も念のため、プレビューで「檜山の見所」に飛ぶか試してみます。

同じように、他の町についても「檜山の観光メニューボタン」から、トップページ「檜山の見どころ」にリンクを張って下さい。

### 5. ファイル構造のイメージ

一番左の「檜山の見所」のファイルから、それぞれのページに飛んでいき、また、それぞれの町の紹介からメニューに飛ぶ用になり、右図のような構成になっています。



今回は、それぞれの町にフォルダを作り、ファイルを全て「index」にしました。こうしないで、フォルダを作らず、全て一次元でやる方法もあり

ますが、見栄えがよくなく、後から修正しづらいので、私は、フォルダに整理する方法を推します。しかし見ている側にとっては、全く差異はありません。

いったんホームページビルダーを終了させます。

## 6. ホームページをインターネット上にアップロードしよう

ホームページを立ち上げるためには、その場所がなければなりません。今回はF C 2という無料のホームページサービスを利用します。

FFFTPを立ち上げ、接続、ホストの設定、新規ホストをクリックします。

ホストの設定名

ホスト名

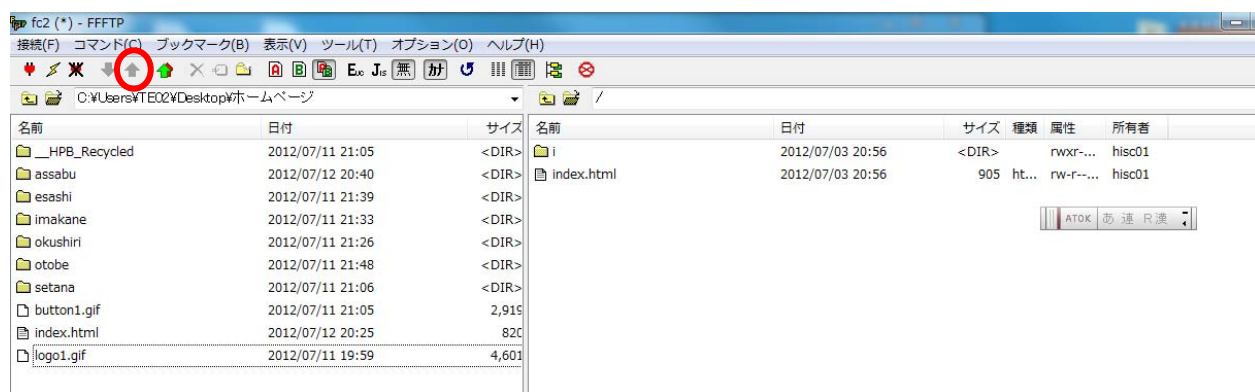
ユーザー

パスワード

うまくつながりませんか。

左側が、自分のパソコン、右側がインターネット上のファイルです。右側に上がっているものは、世界中から見る事ができる部分です。

まず、左側をデスクトップのホームページに持って行きます。



リサイクル以外を全て選択し、アップロードのボタンを押します。予め、設定されている「index」に上書きしていか聞いてきますので、「上書きする」をクリックします。2、3分で全て、アップされます。

ホームページアドレスは、

となっております。

ホームページ作成において気をつけなければならないこと

#### 1. 著作権の問題

無断で他のホームページの写真やイラストなどを使うこと。インターネット上に公開すれば、検索すれば必ず足がつきます。

#### 2. 肖像権の問題

特に子どもの写真については、犯罪に結びつくこともなきしにもあらずということで、保護者の了解を取ることが大切です。一般的には子どもが特定される写真や一人で写っている写真は、学校ホームページには載せるべきではありません。

#### 3. 個人情報

学校ホームページでは、子どもの名前を載せることも、保護者の方から特別に依頼される以外は、避けた方が無難です。

#### 4. 更新

動きのない（更新のない）ホームページは魅力ありません。無理のない程度にちょこちょこ新しい情報をアップするとよいでしょう。その場合、パターンを決めておくと楽です。

また、違う考えとして、私はあまり好きではありませんが、学校所在地と、学校の写真、毎年の行事など、毎年ほとんど変わらないものを載せておくという方法もあります。最低なのは、何年も前の校長先生の挨拶が載っていたり、「NEW」のマークが3年前だったりするホームページです。

## 明和小学校学校ホームページプライバシーポリシー

## (1) 目的

本校の児童の学習活動及び学校経営について、保護者、地域の方々、同窓生はじめ、広く一般に知らせることで、保護者・地域の理解と協力を得ることを目的とする。

## (2) ホームページの管理・運営

運用管理者は校長とし、ホームページに掲載されたすべての情報について責任を負う。校長は、ホームページ作成担当者に運営を委ねることができる。

## (3) 個人に関する情報の保護

個人に関する情報（特定の個人が識別され、又は識別され得るもの）は原則として掲載しない。ただし、教育活用の目的を達成するために必要不可欠であると校長が認める場合、また保護者の同意がある場合は掲載を認める。

児童の写真については、一般の方（児童と面識のない方）が見て特定できない程度の画質とする。

## (4) 公開情報の修正、削除

ホームページ上に公開されている情報について修正・削除要求が出された場合、運用管理者は要求の部分を修正・削除できるものとする。

## (5) 著作権について

当ホームページの著作権は乙部町立明和小学校にあり、無断掲載・コピー等を禁じる。ただしリンクはフリーとする。

## (6) 内容

現在のところ次の通りとする。

○明和小の話題 ○学校経営方針 ○学校の研究 ○学校の歴史 ○行事予定（行事の写真（子どもの顔は第三者が特定できない程度とする） ○今日の給食 ○校歌（歌を入れる） ○学校通信（HPは名前を出さずに、顔もぼやけさせる） ○関連リンク ○プライバシーポリシー ○地域同窓生へ（ID、パスワードが必要） ○平成23年度のページ ○アクセスカウンター

## (7) 内容の作成について

当分の間、教頭が作成、アップの作業を行う。

## 8. ホームページのURL

<http://www.hakodate.fm/meiwa-sho/>

第1分科会 「学校運営に関する分科会」  
 個人情報の管理と情報の発信に関わる学校の対応と法規上の根拠  
 (学校ホームページ更新に関わる留意点について)  
 乙部町立明和小学校 佐々木 朗

### 1 協議課題

「学校からの情報発信と個人情報の秘密保持」に対して、教頭としてどのように対処したら良いか

### 2. 学校ホームページに関わる本校の現状・課題

学校からの情報発信の方法の一つとしてインターネットを利用した学校ホームページがある。本校も、学校ホームページを持ち、年に数回の更新をしていたが、本年度に入り、校長の指導のもと、学校から情報を発信する大切なメディアと位置づけ、内容を刷新した。日々更新するホームページであるが、写真や内容で十分考慮していかなければならない課題がある。そこで、本レポート作成にあたり、改めてコンプライアンス遵守を確認することにした。

### 3. 学校ホームページ更新に関わる教頭としての取り組み

私自身、教育の情報化に長い間携わり、研究をしてきたことがあり、ホームページづくりは得意分野である。また、「ホームページは日々の更新が命」というポリシーがあり、日頃の教育活動や毎日の給食などを毎日更新を心がけている。また、学校ホームページをPRするために、保護者向け文書や学校通信、オリジナルのPRカードなど作成し、地域への啓発を行った。

### 4. 法規などに基づいた求められる教頭等としての対処

インターネットは、即世界中へつながっている。そして、一度発信したデータは、容易に複製され、回収することが不可能であるなど、紙メディアと違った危険性ははらんでいる。そのためインターネットならではの留意点が挙げられる。そのうち次の2点について、法に照らして確認する。

「個人情報の保護に関する法律」(平成15年)では、その理念として、「個人情報は、個人の人格尊重の理念の下に慎重に取り扱われるべきものであり、その適正な取扱いが図られなければならない。」と示されている。つまり、個人が意図しない情報の公開には十分留意しなければならないだけでなく、公開にあたっては、個人の了解の上になり立つことになる。

また、写真の公開にあたっては、肖像権が問題となる。直接肖像権という権利を明示した法律はないが、民法709条に、「故意又は過失によって他人の権利又は法律上保護される利益を侵害した者は、これによって生じた損害を賠償する責任を負う。」とある。肖像権も、「法律上保護される利益」に入り、本人の意図に反して写真を公開されることから守られることになる。

2012-07-14

学校ホームページ開設にあたり、本校では、プライバシーポリシーを定め、保護者に周知し、情報の発信を行っている。個人名を出さない。精細な顔写真は避ける（地域の人が判別できても、不特定の第三者にはわからない程度の解像度とする）などの工夫をしている。また、複数で確認の上、校長の決裁のもと情報をアップしている。

「檜山からの発信」にあるように、学校の教育内容を広く発信していくことは、地域の信頼を得ることにつながり、地域と一体になった教育活動推進に大きく寄与すると確信している。

私は教頭として、自分の得意分野として今後も情報発信に努めると共に、広く地域の声に耳を傾け、地域に信頼される学校づくりに努めていきたい。